

1918.
(大正7年)

- 6.20 上田要を営業主として、匿名組合上田商店創業（大阪市東区淡路町5丁目10番地）
- 8.1 大阪野村銀行開業
- 9.16 日銀、公定歩合2厘引上げ（商業手形割引歩合1銭6厘）
- 11.25 日銀、公定歩合2厘引上げ（商業手形割引歩合1銭8厘）
- 12.6 6大都市の銀行間に新たに預金金利協定成立（違反者に対する制裁を含む最初の預金協定）
- 7.23 富山県下新川郡魚津町の漁民らが、米の県外への船積み中止を荷主に要求（米騒動の始まり）
- 8.2 政府、シベリア出兵を宣言
- 8.3 富山県中新川郡水橋町に米騒動。ついで全国に波及
- 9.3 武者小路実篤らが宮崎県で「新しき村」の建設に着手
- 9.29 原敬内閣成立（高橋是清、大蔵大臣に就任）
- 11.9 ドイツ革命（皇帝退位、共和国成立を宣言）
- 11.11 ドイツ、連合国と休戦協定調印（第1次世界大戦終わる）
- 12.6 大学・高等学校制度を全面改正
- 〈この年〉 スペイン風邪大流行。ヨーロッパ全土に権勢を誇ったハプスブルク家崩壊

1919
(大正8年)

- 4.22 井上準之助日銀総裁、第16回全国手形交換所連合会大会において、手形割引市場育成の必要性を強調
- 5.22 日銀、銀行引受手形再割引制度創設
- 7.16 日銀引受国債の郵便局売出し開始
- 8.1 日銀承認替銀行売出手形（スタンプ手形）制度創設
- 10.1 三菱銀行開業（三菱合資会社銀行部が分離独立）
- 1.5 松井須磨子が島村抱月を追って自殺
- 1.18 パリ講和会議開催
- 3.1 東京市街自動車会社（青バス）運行開始
- 3.13 第9代日銀総裁に井上準之助就任
- 6.28 ベルサイユ講和条約調印
- 7.一 労働争議各地で相次ぐ

1919

(大正 8 年)

- 10. 6 日銀、公定歩合 2 厘引上げ
(商業手形割引歩合 2 銭)
- 11. 19 日銀、公定歩合 2 厘引上げ
(商業手形割引歩合 2 銭 2 厘)
- 12. 30 東京コール金利、翌日物 3 銭
3 厘 5 毛の高値示現 (大阪 3
銭 3 厘 2 毛)

〈この年〉 上野広小路に初の木製回転交通信号台を設置。玄米パン売
出される

1920

(大正 9 年)

- 3. 15 株式暴落 (16日から 2 日間
立会休止、第一次大戦後恐慌
の始まり)
- 4. 7 株式再び暴落 (東西市場、
12日まで立会休止)
- 4. 7 増田ビルブローカー銀行 (大
阪市) 破綻 (関西 7 行による
救済を実行、以後 6 月まで各
地で銀行の休業・預金取付け
続出)
- 4. 12 日銀、株式市場救済の方針を
発表
- 4. 14 株式市場の形勢、一段と険悪
化 (5 月 9 日まで全国株式取
引所休会)
- 4. 14 蔵相、財界救済声明を発表
- 8. 2 日本興業銀行法改正法公布
(割引興業債券の発行を認め
る)
- 9. 20 東京株式取引所、国債市場を
分離開設 (大阪は 10 月 1 日
開市)

- 1. 10 国際連盟発足
- 1. 17 米で禁酒法発効
- 2. 5 八幡製鉄所大ストライキ発生
- 5. 2 日本最初のメーデー、上野公
園で開催
- 6. 16 東京・神田に中央職業紹介所
が発足
- 7. 12 パナマ運河正式開通
- 8. 14 第 7 回オリンピック・アント
ウエルペン (ベルギー) 大会
開幕
- 10. 1 第 1 回国勢調査実施 (内地人
口 5596 万 1140 人、外地人口
2104 万 5370 人)

〈この年〉 流行性感冒大流行。松竹蒲田
撮影所開所

1921
(大正10年)

- 3. 7 大阪銀行集会所組合銀行により、特定ビルブローカーに指定される（上田商店、奥山商店、司城商店の3社）
- 4.22 日本勧業銀行及び農工銀行の合併に関する法律公布（9月から合併開始—第1次勧農合併）
- 11.21 大阪において外国為替業務（外国為替ブローカー業務）開始
- 3. 3 裕仁皇太子がヨーロッパ5カ国訪問に出発
- 4.27 連合国賠償委員会、ドイツ賠償額を1320億金マルクと決定（5月11日ドイツ受諾）
- 11. 4 原首相、東京駅で刺殺される
- 11.13 高橋是清内閣成立（高橋是清、大蔵大臣兼任）
- 11.17 井上準之助日銀総裁、関西銀行大会において消費節約を提唱（商業会議所などの消費節約運動起こる）
- 11.25 皇太子裕仁、摂政となる
- 〈この年〉 銀座の柳を銀杏に植え替え

1922
(大正11年)

- 1. 1 貯蓄銀行法施行（普通銀行と分離）
- 4. 1 新会計法施行（金庫制度から国庫預金制度へ移行）
- 8. 4 朝鮮銀行及び台湾銀行の整理案成立
- 11.29 日本積善銀行（京都）の休業発表により、京都・奈良地方に銀行に対する動揺広がる（その後動揺は各地に拡大、年末まで続く）
- 2. 6 ワシントン軍縮会議終わる（海軍軍備制限条約に調印）
- 2.28 石井定七商店（大阪）、投機に失敗し破綻（これにより株式・米穀相場暴落）
- 4. 3 ロシア共産党書記長にスターリン就任
- 6.12 加藤友三郎内閣成立（市来乙彦、大蔵大臣に就任）
- 6.24 政府、シベリア撤兵を声明
- 7. 9 森鷗外死去（60歳）
- 10.31 イタリアでムッソリーニ内閣が成立
- 12.30 ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連邦）成立
- 〈この年〉 ダンス大流行。アインシュタインにノーベル物理学賞

1923

(大正12年)

- | | | | |
|--------|------------------------------------|-------|--|
| 7.13 | 農産銀行（名古屋）休業発表
（その後中京地方で銀行取付け頻発） | 2.20 | 東京新名所丸ビル完成 |
| 9. 1 | 関東大震災発生（東京・横浜地区、営業不能の銀行多数） | 3.10 | 中国、日本に21カ条条約廃棄を通告 |
| 9. 7 | 支払猶予令（モラトリアム）公布施行（30日まで） | 9. 2 | 第2次山本権兵衛内閣成立（井上準之助、大蔵大臣に就任） |
| ● 9.15 | <u>東京コール市場取引再開</u> | 9. 5 | 第10代日銀総裁に市来乙彦就任 |
| 9.28 | 日銀、震災手形割引損失補償令による特別融通を開始 | 9.12 | 関東大震災後の帝都復興に関する詔書發布 |
| 12.24 | 震災善後公債法公布施行 | 11.15 | ドイツ、インフレ收拾のためレンテンマルク紙幣を発行（1レンテンマルク＝旧1兆マルク） |
| | | 12.27 | 難波大助、摂政宮を狙撃（虎の門事件）、山本内閣引責総辞職 |
| | | 〈この年〉 | 「船頭小唄」が大流行。菊地寛が「文芸春秋」を創刊 |

1924

(大正13年)

- | | | | |
|------|--------------------------------|------|------------------------|
| 3. 1 | 産業組合中央金庫開業 | 1. 7 | 清浦奎吾内閣成立（勝田主計、大蔵大臣に就任） |
| 3.31 | 日銀、震災手形の新規割引を停止（割引累計額4億3100万円） | 1.21 | レーニン死去（53歳） |
| 7.26 | 大蔵省、銀行合同促進方を地方長官に要請 | 1.25 | 第1回冬季オリンピック・シヤモニー大会開幕 |
| | | 1.26 | 摂政裕仁親王、久邇宮良子女王と成婚式 |

1924

(大正13年)

- 11.20 東京市日本橋区檢物町9番地に東京支店を設置、東西両市場の金融の疎通を図る(当初1923年11月の出店を予定したが関東大震災が起こったため1年延期)
- 6.11 第1次加藤高明内閣成立(浜口雄幸、大蔵大臣に就任)
- 7.5 第8回オリンピック・パリ大会開幕
- 8.1 甲子園球場完成
- 〈この年〉 映画「籠の鳥」がヒット、主題歌大流行

1925

(大正14年)

- 3.31 日銀による震災手形特別融通の期限を1年延長(1926年9月30日まで)
- 4.1 預金部預金法施行(預金部資金運用委員会の設置等を規定)
- 4.15 日銀、公定歩合2厘引下げ(商業手形割引歩合2銭)
- 4.25 東京コール協定金利翌日物最低1銭3厘(大阪1銭1厘)
- 12.4 東京交換所、東京手形交換所と改称
- 4.13 中等学校以上の学校で軍事教練が義務づけられる
- 5.5 普通選挙法公布(次回総選挙以降実施)
- 5.12 治安維持法施行
- 7.1 広東に国民政府成立
- 7.12 東京放送局(JOAK)本放送開始
- 8.2 第2次加藤高明内閣成立(浜口雄幸、大蔵大臣留任)
- 9.20 東京6大学野球リーグ始まる
- 11.1 神田一上野間の高架線開通により山手線の環状運転開始
- 〈この年〉 阪東妻三郎中心に時代劇映画ブーム起こる

1926

(大正15年)
(昭和元年)

- 1.4 野村証券営業開始(大阪野村銀行の証券部が独立)
- 3.15 本店新築、現所在地(大阪市東区高麗橋)に移転
- 3.29 日銀による震災手形特別融通の期限を再延長(1927年9月30日まで)
- 9.15 大阪株式取引所の国債取引員の免許を受ける
- 1.30 第1次若槻礼次郎内閣成立(浜口雄幸、大蔵大臣留任。同年6月3日早速整爾、同年9月14日片岡直温、大蔵大臣に就任)
- 7.1 健康保険法施行(1927年1月1日保険給付開始)

1926

(大正15年)
(昭和元年)

- | | | | |
|------|----------------------------|-------|---|
| 9.28 | 金融制度調査会発足 | 9.13 | 日本航空、大阪・大連間の定期航空便を開始（最初の海外定期飛行） |
| 10.4 | 日銀、公定歩合2厘引下げ（商業手形割引歩合1銭8厘） | 10.1 | 郵便年金法施行 |
| | | 12.25 | 大正天皇崩御（47歳）。摂政裕仁即位し、昭和と改元 |
| | | 〈この年〉 | 12月円本（1冊1円）のはしりが刊行される。ハンドバッグ普及、洋装の必需品に。流行語「モダン」 |

1927

(昭和2年)

- | | | | |
|--------|--|------|-----------------------------------|
| 1.1 | 大阪野村銀行、野村銀行と改称 | 2.7 | 大正天皇大葬の儀挙行 |
| 3.9 | 日銀、公定歩合2厘引下げ（商業手形割引歩合1銭6厘） | 3.7 | 北丹後大地震発生 |
| 3.14 | 片岡蔵相、東京渡辺銀行が破綻と発言（金融恐慌の発端となる） | 3.22 | 蔵相・日銀総裁、それぞれ財界安定に関する声明を発表 |
| 3.15 | 東京渡辺銀行・あかち貯蓄銀行休業（金融恐慌始まる） | 3.24 | 南京事件起こる |
| ● 3.15 | <u>金融恐慌に際し、本支店全力を挙げて金融界の安定と復興に努力貢献</u> | 4.1 | 兵役法公布（徴兵令廃止） |
| 3.22 | 京浜地方の諸銀行休業頻発 | 4.20 | 田中義一内閣成立（高橋是清、同年6月2日三土忠造、大蔵大臣に就任） |
| 3.30 | 震災手形損失補償公債法及び震災手形善後処理法公布（5月1日施行） | 5.10 | 第11代日銀総裁に井上準之助就任 |
| 4.15 | 枢密院精査委員会、台湾銀行救済に関する緊急勅令案を否決（17日、同院本会議でも否決） | 5.21 | リンドバーグ、大西洋単独無着陸横断飛行に成功 |
| | | 5.28 | 政府、山東出兵を声明、関東軍に出動命令（第1次山東出兵） |
| | | 5.28 | 第1回日本オープンゴルフ選手権大会開催（優勝赤星六郎） |
| | | 7.24 | 芥川龍之介服毒自殺 |
| | | 8.10 | 公益質屋法施行 |

1927
(昭和2年)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 4.18 台湾銀行休業（台湾島内店舗を除く、5月9日再開） 4.21 市中銀行、恐慌に対処し22、23日の両日一斉臨時休業に決定 4.22 モラトリアム実施（5月13日解除） ● <u>8.8 東京コール協定金利翌日物最低1銭2厘（大阪1銭1厘）</u> ● <u>10.8 東京コール協定金利翌日物最低1銭1厘（大阪1銭）</u> 10.10 日銀、公定歩合1厘引下げ（商業手形割引歩合1銭5厘） 12.1 昭和銀行開業（休業諸銀行の業務を継承） ● <u>12.17 大阪組合銀行、銀行業務改善案（コールは担保付とし、据置期間は7日以内とするなど）を申合わせ。22日、東京組合銀行も同様申合わせ</u> | <ul style="list-style-type: none"> 9.6 中国、国民政府の統一成る 12.30 東京地下鉄道、浅草・上野間開業（日本最初の地下鉄、約2.2km） |
|--|--|
-
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1.1 銀行法施行 2.1 月掛郵便貯金制度実施 2.18 大阪預金協定加盟銀行、コール協定を拡張し、貸出最低利率を協定（2月20日実施） 5.8 日銀、特別融通打切り（損失補償法分及び台湾融資法分、融資総額9億5300万円） | <ul style="list-style-type: none"> 2.11 第2回冬季オリンピック・サンモリッツ大会開幕 2.20 第16回総選挙（初の普通選挙） 4.10 日本商工会議所設立 4.19 閣議、第2次山東出兵を決定 6.4 張作霖爆死事件 6.12 第12代日銀総裁に土方久徴就任 6.29 治安維持法改正（死刑・無期徒刑を追加） 7.1 特高警察設置 |
|--|--|

（この年） チャールストン・ダンスブーム。流行語「モガ・モボ」。宝塚「モン・パリ」公演

1928
(昭和3年)